

報道関係者各位

2025年3月31日
SBINFT 株式会社
CryptoGames 株式会社

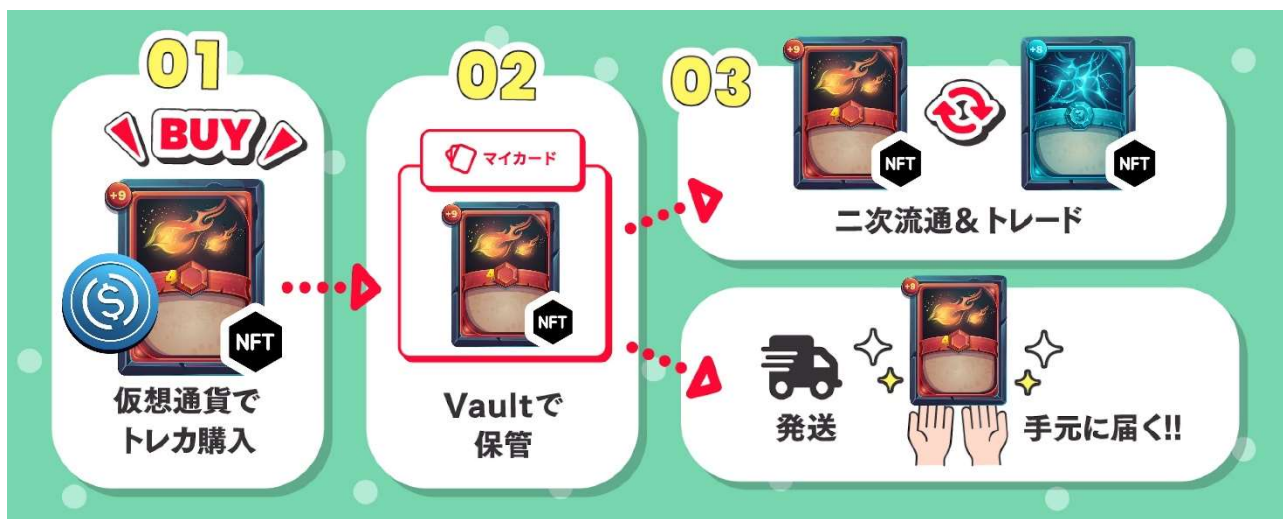
SBINFT と CryptoGames、トレーディングカードの RWA トークン (NFT) を「SBINFT Market」で取扱い開始することに合意

SBINFT 株式会社（代表取締役社長：高長徳、以下「SBINFT」）と CryptoGames 株式会社（代表取締役：小澤孝太、以下「CryptoGames」）は、CryptoGames が発行したトレーディングカードの RWA^{※1} トークン (NFT) の二次流通の取扱いを、SBINFT が運営する NFT マーケットプレイス「SBINFT Market」内で開始することについて、2025年3月31日付で合意しました。

SBINFT × 


◆本件の概要について

CryptoGames は、RWA トークンの売買プラットフォームである「TCG STORE」と提携し、鑑定済みのトレーディングカード（以下「トレカ」）を裏付け資産とする RWA トークンを NFT として発行し、ユーザー向けに販売しています。2025年2月の販売開始以降、発行された RWA トークン (NFT) の総数は 1,000 枚を超えています。この RWA トークン (NFT) は、ゲームに特化したブロックチェーンである Oasys^{※2} を基盤とする TCG Verse チェーン上で発行されており、RWA トークン (NFT) の保有者が burn^{※3} を実行すると、実物のトレカが「TCG STORE」から burn を実行したユーザーの手元に届く仕組みになっています。そのため、ユーザーは、実物のトレカを受渡しせずとも、RWA トークン (NFT) の取引を通じてトレカを売買することが可能となります。





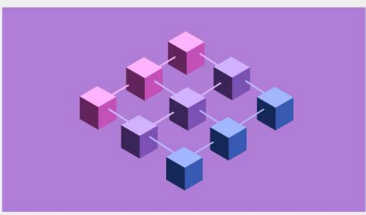

「SBINFT Market」は、SBINFT が運営する承認制の NFT マーケットプレイスです。流通する NFT を承認済みのコンテンツホルダーが発行したものに限定し、ユーザーが模倣品や海賊版を購入するリスクの排除に努めています。また、暗号資産決済以外にもクレジットカード決済に対応することで、Web3 初心者が安心して NFT 取引を開始できる環境を提供しており、2025 年 3 月現在で累計約 20,000 人のユーザー（ウォレット接続ユーザー数）に利用いただいております。

SBINFT Marketとは



企業・IPホルダーが安心して利用できる
パブリックチェーンNFTマーケットプレイス

主な特徴

	<p>NFTの発行</p>		<p>販売/二次流通を 提供</p>
	<p>Ethereum Polygon Oasys チェーンに対応</p>		<p>日本円決済 (クレジットカード) にも対応</p>

このたびの合意により、SBINFT は、「SBINFT Market」内で当該 RWA トークン（NFT）の取扱いを 2025 年 3 月 31 日から開始します。これにより、ユーザーは、CryptoGames が発行するトレカの RWA トークン（NFT）を、国内のマーケットプレイスにおいて、クレジットカード決済（日本円）で売買可能になります。

◆本合意の背景について

RWA の市場規模は、オンチェーン上の RWA（ステーブルコインを除く）の時価総額が、2023 年末の約 84 億ドルから、2025 年 2 月時点で約 170 億ドルと急速に拡大しており^{*4}、2030 年には約 2 兆ドルに達すると予測されています^{*5}。

RWA 市場の急拡大を受け、トレカの RWA トークン (NFT) の取引需要も高まっておりますが、ユーザーが、「TCG STORE」内で、トレカの RWA トークン (NFT) を購入する際の決済手段は、暗号資産に限定されています。そのため、RWA トークン (NFT) 化されたトレカは、ブロックチェーン上で効率的に売買される反面、暗号資産を持たないユーザーからは購入しにくい状況でした。また、ユーザーが二次流通市場でトレカの RWA トークン (NFT) を購入しようとする場合、海賊版を購入してしまうリスクも生じておりました。

本合意により、CryptoGames が「TCG STORE」で販売するトレカの RWA トークン (NFT) が、「SBINFT Market」内でクレジットカード決済 (日本円) により購入できるようになります。そのため、暗号資産を保有しない Web3 初心者層でも、簡単に RWA トークン (NFT) 化されたトレカを購入できるようになり、流動性の高まりが期待されます。

また、CryptoGames は、顧客層の拡大を図りつつ、ユーザーに対して二次流通における海賊版購入リスクを排除した、安心できる取引環境を提供することが可能となります。SBINFT は、トレカ購入希望者の取引需要を取り込みつつ、「SBINFT Market」の二次流通市場における売買の活性化が図れます。

よって両社は、「SBINFT Market」においてトレカの RWA トークン (NFT) の二次流通の取扱い開始について合意しました。両社は、今回の合意を通じて、トレーディングカード市場における、信頼性が高く効率化された取引環境の構築を推進し、Web3 市場の発展に貢献してまいります。

SBINFT は、今後もお客様のニーズに応えるサービス提供を通じ、お客様の利便性と満足度向上を図りながら、様々な企業・団体と協業を進めつつ、日本の Web3 を牽引するビジネスの創出を目指します。

CryptoGames は、ブロックチェーンカードゲーム「CryptoSpells」、「TCG STORE」で販売するトレカの RWA トークン (NFT) など、ブロックチェーンを活用しトレーディングカードの新しいユーザー体験を追求してまいります。

(※1) RWA とは、Real World Assets の略です。不動産、アート作品、バッグや宝石などの実物の資産を意味します。これらの実物資産を裏付けに、ブロックチェーン上で発行されたトークンは、RWA トークンと呼ばれます。

(※2) Oasys は、日本発のゲームに特化したパブリックチェーンの基盤として、国内外のゲーム会社との共創により、ブロックチェーンゲームを誰もが当たり前でプレイする世界を目指すプロジェクトです。

<https://www.oasys.games/>

(※3) burn とは、NFT を永続的に取引不能にする処理を意味します。

(※4) 株式会社 HashHub 「RWA エコシステムマーケットレポート【2025年2月】：主要プレイヤーの取り組みと収益モデルの整理 (前編)」

<https://hashhub-research.com/articles/2025-02-13-rwa-market-report-2025-2-and-categorize-business-model>

(※5) McKinsey & Company 「From ripples to waves: The transformational power of tokenizing assets」

<https://www.mckinsey.com/industries/financial-services/our-insights/from-ripples-to-waves-the-transformational-power-of-tokenizing-assets>

◆ 「TCG STORE」について

鑑定済みのトレーディングカードを NFT（非代替性トークン）としてデジタル化し、ブロックチェーン上での所有・取引を可能にするプラットフォームです。

URL : <https://tcgstore.io/>

公式 X : https://x.com/TCGSTORE_io

◆ TCG Verse について

TCG Verse は、「あなたのカード NFT が資産となる世界」を目指す、Oasys の L2 チェーンです。CryptoSpells、NFTWars 等のカードゲームタイトルがリリース済みとなっています。

◆ 「SBINFT Market」について

「SBINFT Market」は、公認されたコンテンツホルダーや NFT 販売事業者、個人活動するアーティストが制作した NFT の販売（一次販売）および、利用者同士が保持している NFT を売買（二次販売）できる、パブリックチェーンの NFT 売買プラットフォームサービスです。対応する決済手段は、Ethereum、Polygon、Oasys（各種 Verse）、Avalanche およびクレジットカード（日本円）です。

URL : <https://sbinft.market/>

【CryptoGames について】



2019年6月25日にブロックチェーンカードゲーム「クリプトスペルズ」を正式リリースし、クラウドセールの上は900ETHとなり当時日本最高記録。2020年6月には初の地上波テレビCMも実施しました。2022年にガス代無料の Oasys Verse layer「TCG Verse」をローンチし、「NFTwars」「OasChoice」などのブロックチェーンゲームを展開しています。

URL : <http://cryptogames.co.jp/>

Email : info@cryptogames.co.jp

◆ 会社概要

会社名 : CryptoGames 株式会社

所在地 : 東京都渋谷区神宮前六丁目23番4号 桑野ビル2階

代表者 : 小澤 孝太（おざわ こうた）

設立 : 2018年4月

事業内容 : ブロックチェーンゲーム開発支援、クリプトスペルズ、NFTWars の運営

【SBINFT について】

「Be the FIRST. Be the STANDARD.」 NFT を社会へ広げる、その真ん中に。

SBINFT

便性の向上、コミュニティーの形成、新たな体験の提供。そんな NFT を通した革新的なサービスを、先頭に立って社会へ。そのサービスを誰もが信頼できるプラットフォームで、社会の常識に。ひらかれ、つながった社会の構築を目指して。

< リンク一覧 (SBINFT 株式会社) >

コーポレートサイト : <https://sbinft.co.jp/>

SBINFT Market : <https://sbinft.market/>

SBINFT Mits : <https://sbinft-mits.com/top>

最新情報 : <https://sbinft.co.jp/news/>

採用情報：<https://sbinft.co.jp/careers/>

X (旧 Twitter)：https://twitter.com/sbinft_corp

◆ 会社概要

会社名：SBINFT 株式会社

所在地：東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号 泉ガーデンタワー

代表者：高長徳 (こう ちゃんど)

設立：2015 年 5 月

事業内容：

- ・ NFT プロジェクトの運営を通じたロイヤルカスタマーの可視化、育成、獲得が出来るマーケティングプラットフォーム「SBINFT Mits」の提供
- ・ 承認制による安心安全なコンテンツのみ流通することを目的としたパブリックチェーンによる NFT マーケットプレイス事業「SBINFT Market」の提供
- ・ 企業や団体などが、NFT を活用した新たなビジネスモデルの構築を実現するための NFT コンサルティング事業「NFT Consulting」の提供
- ・ 自社ドメイン上で様々な NFT コンテンツのマーケットプレイス構築を実現する WebAPI によるマーケットプレイス構築支援事業「TOKEN CONNECT」の提供

< 報道関係からのお問い合わせ >

◆ SBINFT 広報 PR 室

<https://sbinft.co.jp/contact/>

◆ CryptoGames 広報

info@cryptogames.co.jp